

2016年
3月
スタート

大学で学び ⇨ スポーツ現場取材、制作 学生主体の連載企画ページが実現!

本企画に参加するのは江戸川大学でスポーツマネジメント、スポーツビジネス、スポーツマスコミを学んでいる学生たち。ビジネスを学ぶことと雑誌に原稿を書くことは直接的には繋がらないが、一番大事なことはスポーツの現場を知りスポーツの現場に触れ合い、スポーツマインドを持つこと。さらに、スポーツで生きる人たちの想いや情熱を知ること。

それらをなくして、スポーツマネジメントもスポーツビジネスもスポーツマスコミも学べない、と考えるのです。机上の知識だけではなく、実際にスポーツの現場に足を運び感じて欲しい。

今回、地域スポーツ応援メディアを標榜する「yell sports千葉」とコラボレーションする狙いは、こんなところにあるのです。



第1弾は松井秀喜氏を取材!
第2弾以降もトップアスリートや
県内の学校スポーツの現場を
徹底取材! 徹底応援!

江戸川大学 yell sports 制作チーム

- 社会学部 現代社会学科 レジャー・スポーツマネジメントコース 広岡勲ゼミ生
- 社会学部 経営社会学科 スポーツビジネスコース 小林至ゼミ生
- メディアコミュニケーション学部 マス・コミュニケーション学科 佐藤毅ゼミ生

指導講師



広岡 勲(ひろおか いさお)

江戸川大学教授、読売巨人軍球団代表付アドバイザー、日本相撲協会理事長付アドバイザー。ニューヨーク市立大学大学院修士課程修了。慶應義塾大学大学院博士課程在籍。報知新聞社では長嶋茂雄氏、松井秀喜氏などの担当記者を歴任。退社後、松井秀喜氏の求めに応じてニューヨーク・ヤンキースへ入団。日本人初となる球団広報兼環太平洋担当に就任し、のべ4球団、10年間、大リーグに在籍。その後、WBC日本代表統括広報を経て、2014年から現職。



小林 至(こばやし いたる)

江戸川大学社会学部教授、サイバー大学客員教授。史上3人目の東大卒プロ野球選手。退団後は7年間アメリカに在住し、コロンビア大学で経営学修士号(MBA)を取得。2005年から福岡ソフトバンクホークス球団取締役として、連盟担当、営業担当、IT戦略担当、編成育成担当を歴任したのち、2010年からはフロント実務の責任者として、チームづくりに携わる。2015年から現職。「スポーツの経済学」ほか著書・テレビ出演等多数。



佐藤 毅(さとう たけし)

江戸川大学メディアコミュニケーション学部教授。マス・コミュニケーション学科長。主な研究テーマは日本文学、日本語学。日本文学の中心テーマは明治を中心とした近代文学。派生して江戸近世文学及び大正、昭和から現代文学に及ぶ。日本語学の中心テーマは日本型コミュニケーション。文章論、ことばと表現、現代文学鑑賞、マスコミ演習・実習等の授業科目を担当。江戸川大学アスリートセンター所属。



上利 浩史(あがり ひろし)

江戸川大学広報室。テレビ局でスポーツ番組ディレクター、スポーツ中継ディレクター、千葉ロッテマリーンズなどのプロ野球担当記者を歴任。2010年よりアメリカのニューヨーク支局に赴任し、大リーグを中心とした海外スポーツ担当記者をつとめる。2013年の帰国後は、8年ぶりの開催となった「日米野球」や、「2014MLBオールスターゲーム」などスポーツ中継の総合演出を担当。2015年から現職。